

4月号

遅い春が来た

4月、この月山西大学キャンパス内では白い綿毛のついた種が常に雪のように舞っている。マスクをつける人もいるほどだ。

今月は1日のエイプリルフールで始まる。国際的に有名なこの日は、中国でも突拍子もないことをする日として主に若者の間で楽しまれている。中国の大手検索サイトも、トップページのロゴをこの日に限って変更したことがある。

5日は清明節だ。清明節は伝統的には墓参りをするための日で、祝日になっている。4月4～6日の三連休となった。この連休を利用して桜を見に日本を訪れる中国人もいる。

学生による活動としては、国際貿易に関するイベントが開催された。複数の大学から学生が集まり、国際貿易の場を想定して学生が商品を紹介したりするといった内容だ。各大学にある学生団体が組織し、各学部などがチームとして参加するという仕組みで、国際的かつ学際的な場だ。



今月訪れた太原市内にある迎沢公園

ある週末は、国際関連に携わる教職員や留学生とともに山西省北部にある大同の雲崗石窟などを観光した。雲崗石窟は、世界文化遺産に登録されている石窟寺院。無数の石の洞窟の中に石像などがある独特な雰囲気のある寺院で、見る価値はある場所だ。入ると一見普通の寺院だが、奥に進むと巨大な岩の構造物が見えてくる。周囲はもともと黄土の土地が広がる何もない場所で、不便な環境の中時間をかけて造られた。



雲崗石窟



山大好声音

山西大学では学生が歌を歌いその評価を競う『山大好声音』が開催された。キャンパス内の会場につくられたテレビ番組のスタジオのようなステージで予選を通過した学生たちが歌い、その後ステージ上で数人の先生が評論をするというものだ。会場は活気にあふれ、温かい雰囲気の中開催された。留学生の中からも 2 人が歌手として参加し、多くの人々の関心を集めた。自国の歌を披露したひとりの留学生は、その日会場に集まった数多くの人と交流し多くの友達ができたと話す。中国の音楽オーディション番組にも『中国好声音』がある。

杉浦聡太